

しろはく活動記録

# 古地図と城の泉 第25号

## 『華城八景』原画の発見と考察

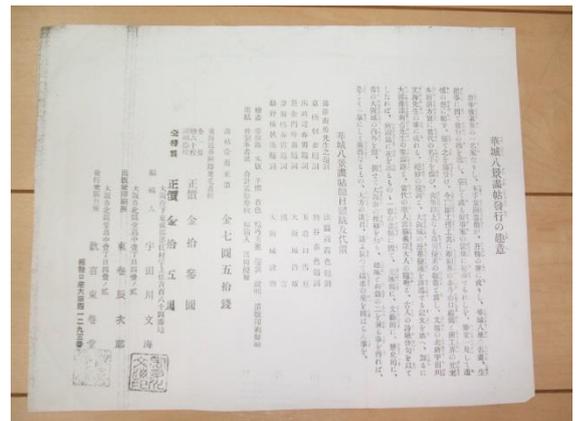
平成27年11月15日

しろはく古地図と城の博物館 富原文庫

城郭現地調査報告及び資料調査

博物館事業報告

1・華城八景原画の発見と考察 大坂城の美しい画帳『華城八景』の謎を解明する。



大坂城の春夏秋冬、美しい情景を描いた明治の木版色刷版画8枚がよく知られている。そこには江戸から明治の原風景が描かれる。『華城八景』とも、『大阪城八景』ともいわれるが、その実態は

あまり知られていない。そこに、今年10月『金城二十勝』と題する肉筆画帳を発見した。調べてみると20図の内5図の構図が一致した。そこで、華城八景の謎解きに挑むことにした。そもそも、この画帳は版画画であったり、単なる一枚物の版画であったり、題名も作者も年代も記入されたり、されなかったり、復刻されたりといろいろな経緯をたどっていた。50年余の間に此の画帳を10点程集め、整理してみた。謎が解けた第1段は20年ほど前に見つけた1枚物のチラシであった。それは捨てられるような小さな紙切れであったが、よく見ると華城八景の出版案内であった。そこには、版画に記入されていない情報、出版経緯や作成履歴が詳細に記録されていた。版画は残されているが、この紙切れは捨てられる運命にあり、まさに謎の画帳となった。今回さらに、肉筆画帳が見つかったことで、ようやく、あらましを明らかにすることが出来た。

肉筆画とチラシ、さらに、版画の朱印、大正の復刻版奥付によって、作者は玉手棠洲と判明した。幕末明治の大阪の日本画家であり、寛政6年1794年生まれ、明治4年1871年に亡くなっている。謎解きの詳細は1枚の出版案内に記されていた。長くなるが引用すると、「華城八景画帳発行の趣旨」と題し、「浪華後素界の一家たりし、玉手棠洲画伯が、丹精の筆に成りし、華城八景の名画、生前事に因て発行の機を逸し、空しく或る好事家の筐底に秘蔵せられしを、弊堂一見して遺憾の想に耐ず、強て之を譲受け、今回彫工摺工共に彫刻界の泰斗山口亀鶴と摺工界の元老本田朋方実に当代の名手を選び、肉筆以上成る高尚優美の版画と為し、文壇の老将宇田川文海先生の筆に成れる、絶妙の題詞と、大阪城の沿革変遷を詳述せる記文を添へ、加るに大儒藤沢南岳先生の巻頭言と、当代の歌人宮脇義臣大人の題歌と、古人の詩歌俳句を以てしたれば、所謂錦に花を添るものの一巻の画帳に因て、美術的に、文芸的に、歴史的に、昔の大阪城の内外を觀、併せて大阪市の推移を知り、趣味と利益の二を兼る事を得れば、是こそ一挙にして兩得成るもの、大方の諸君、請ふ競つて購求の榮を賜はらん事を、

華城八景画帳題目体裁及代価

藤沢南岳先生之題詞・京橋朝市題詞・川崎堤春霄題詞・筋金門時雨題詞・算盤橋春霄題詞・鳴野橋秋漁題詞・法圓阪霞色題詞・桃谷春色題詞・玉造口雪旦・大阪城沿革・緒言・大阪城説明

絵画 巻頭言 木版 手摺 着色 精巧美麗 題詞 説明 活版印刷鮮明 用紙 特殊奉書紙  
合計貳拾參枚 桐箱入 高尚優雅

画帳壹冊正価 金七圓五拾錢

編輯人 大阪府下東成郡墨江村字上住吉百八十四番地 宇田川文海 印

出版兼印刷所 大阪市北区堂島中壺丁目四壺ノ貳 東卷辰次郎

発行兼販売所 大阪市北区堂島中壺丁目四壺ノ貳 歡喜東卷堂 振替口座大阪四一二九三番

とある。宇田川文海が編集し、歡喜東卷堂の東卷辰次郎が出版したもので、生前に出すことが出来ないこととあることから、明治4年の玉手棠洲没後、明治中旬までの刊行となる。版画と為しとあることから。原画は肉筆と思われる。大きさは25 x 35 cmで、藤沢南岳の題詞は金城美とする揮毫であった。宮脇義臣の歌は各版画の題詞に個人の歌ともに添えられている。彫師摺師は広告にあるのみで、画帳には記入されていない。各版画の説明と大阪城の履歴は宇田川文海の作である。この時の出版物は『大阪城八景』と題して桐箱入りで残されている。華城ではわかりにくいため、出版の段階で大阪城と変更したものと思われる。ただ、広告にも画帳にも刊年は記入されていない、さらに、画帳奥付には作者の玉手棠洲の名は見えないが、個々の版画には極小さく「玉棠洲」と朱印がある。さらに、製本断裁前の1枚版画の状態でも流布した物が残されている。題詞のないものや、慶長年間大阪城之略図のないもの等さまざまに伝来し、その詳細を不明確にしている。

次に二つ折り画帳として、『華城八景』と題して出版されたものがある。一つは著者無記名（版画には小さく玉棠洲の朱印があるが）の画帳で、大正7年9月購版と書かれ、版権が移動したこと

をうかがわせる。藤沢南岳先生之題詞「金城美」・京橋朝市木版画と題詞・川崎堤春月木版画と川崎堤春霄題詞・筋金門時雨木版画と題詞・算盤橋春霄木版画と題詞・鳴野橋秋漁木版画と題詞・法眼阪霞色木版画と法圓阪霞色題詞・桃谷春色木版画と題詞・玉造口雪旦木版画と題詞、五三桐表紙付、17, 5 x 25 cm画帳、発行兼印刷者、木村助次郎、販売元、美術風俗文芸書林新古浮世絵版画売買だるまやとあるが、復刻時、華城八景題詞宇田川文海述緒言大阪城沿革大阪城城内の大体、慶長年間大阪城之略図は省かれた。二つ目は大正7年9月25日印刷、10月1日発行とされ、画者故玉手棠洲、さらに技術者彫技手岩橋辰一、摺技手筒井寅吉と明記されている。しかし、よく見ても彫や摺りの違いは判別できない。

今回、発見した原画と思われる『錦城廿勝』はあとがきに金城廿景、棠洲写とされ、『棠洲』の朱印と名の『王蓮之印』の朱印が押されている。箱紙に玉手掌州画大阪城式十勝画帖と書かれ、二重の木箱に収納されている。構図は20図で追手春真・京極口群鴉・十露盤橋春宵・京橋賑市・天満橋春色・網島春雨・玉造口雪色・筋金門疾雨・杉山郭公・十軒屋鋪通車・川崎堀夕陽・葎屋橋納涼・天満橋望月・畔野橋秋漁・菱櫓落雁・猫間川萩錦・鳴野堤秋夕・清水橋時雨・鳴野口渡所・追手暮雪が肉筆彩色で描かれ、内五絵図、十露盤橋春宵、京橋賑市、玉造口雪色、筋金門疾雨、畔野橋秋漁は華城八景と同一構図であった。おそらく、こののちさらに8図の肉筆画帳が存在したものである。

まとめ

華城八景は江戸時代末期に玉手棠洲によって、20図としてとして描かれ、さらに8景に選択され、明治前半に東巻辰次郎によって木版画帳『大阪城八景』として刊行、さらに、大正9年版権を購入してだるまや木村助次郎が2つ折りの画帳『華城八景』として復刻したものと考えられる。画帳には詳細の履歴が記されることはなく、奥付に作者玉手棠洲の名さえ削られるものもあり、美しい絵柄だけが知られるようになった。今回、出版案内の発見、原画の発見により、その謎は解明した。なお、附言すれば、昭和6年に大阪市から出され、幅広く流布している『大阪城』の表紙は明示されていないが、この木版本華城八景の慶長年間大阪城之略図の流用である。

### 金城二十勝と華城八景の比較 左肉筆右木版画



鳴野橋

### 華城八景関連富原文庫所蔵一覧

#### 資料1・『華城八景画帳発行の趣旨』

「浪華後素界の一家たりし、玉手棠洲画伯が、丹精の筆に成りし、華城八景の名画、生前事に因て発行の機を逸し、空しく或る好事家の筐底に秘蔵せられしを、弊堂一見して遺憾の想に耐ず、強て之を譲受け、今回彫工摺工共に彫刻界の泰斗山口亀鶴と摺工界の元老本田朋方実に当代の名手を選び、肉筆以上成る高尚優美の版画と為し、文壇の老将宇田川文海先生の筆に成れる、絶妙の題詞と、大阪城の沿革変遷を詳述せる記文を添へ、加るに大儒藤沢南岳先生の巻頭言と、当代の歌人宮脇義臣大人の題歌と、古人の詩歌俳句を以てしたれば、所謂錦に花を添るものの一巻の画帳に因て、美術的に、文芸的に、歴史的に、昔の大阪城の内外を觀、併せて大阪市の推移を知り、趣味と利益

の二を兼る事を得れば、是こそ一挙にして両得成るもの、大方の諸君、請ふ競つて購求の榮を賜はらん事を、

華城八景画帳題目体裁及代価

藤沢南岳先生之題詞・京橋朝市題詞・川崎堤春霄題詞・筋金門時雨題詞・算盤橋春霄題詞・鳴野橋秋漁題詞・法圓阪霞色題詞・桃谷春色題詞・玉造口雪旦・大阪城沿革・緒言・大阪城説明

絵画 巻頭言 木版 手摺 着色 精巧美麗 題詞 説明 活版印刷鮮明 用紙 特殊奉書紙  
合計貳拾參枚 桐箱入 高尚優雅

画帳壹冊正価 金七圓五拾錢

編輯人 大阪府下東成郡墨江村字上住吉百八十四番地 宇田川文海 印

出版兼印刷所 大阪市北区堂島中老丁目四老ノ貳 東卷辰次郎

発行兼販売所 大阪市北区堂島中老丁目四老ノ貳 歎喜東卷堂 振替口座大阪四一二九三番  
主要箇所太字に変更（富原）



京橋



玉造口

## 資料2・富原文庫所蔵『華城八景』一覧

1・『大阪城八景』 横版画帳木箱入 藤沢南岳先生之題詞「金城美」・京橋朝市木版画と題詞・川崎堤春月木版画と川崎堤春霄題詞・筋金門時雨木版画と題詞・算盤橋春霄木版画と題詞・鳴野橋秋漁木版画と題詞・法眼阪霞色木版画と法圓阪霞色題詞・桃谷春色木版画と題詞・玉造口雪旦木版画と題詞・慶長年間大阪城之略図・華城八景題詞宇田川文海述緒言大阪城沿革大阪城城内の大体 厚紙表紙付 25 x 35 cm 箱27, 5 x 38 x 4 cm

2・『表題不明』 1枚物 藤沢南岳先生之題詞「金城美」・京橋朝市木版画・川崎堤春月木版画・筋金門時雨木版画・算盤橋春霄木版画・鳴野橋秋漁木版画・法眼阪霞色木版画・桃谷春色木版画・玉造口雪旦木版画・慶長年間大阪城之略図・華城八景題詞宇田川文海述緒言大阪城沿革大阪城城内の大体 26, 5 x 39 cm 各木版画の題詞作成以前の状況、用紙サイズも断裁前。

3・『表題不明』 1枚物 藤沢南岳先生之題詞「金城美」・京橋朝市木版画・川崎堤春月木版画・筋金門時雨木版画・算盤橋春霄木版画・鳴野橋秋漁木版画・法眼阪霞色木版画・桃谷春色木版画・玉造口雪旦木版画・慶長年間大阪城之略図・華城八景題詞宇田川文海述緒言大阪城沿革大阪城城内の大体 26, 5 x 39 cm 各木版画の題詞作成以前の状況、用紙サイズも断裁前。2と同一。

4・『表題不明』 1枚物 藤沢南岳先生之題詞「金城美」・京橋朝市木版画・川崎堤春月木版画・筋金門時雨木版画・算盤橋春霄木版画・鳴野橋秋漁木版画・法眼阪霞色木版画・桃谷春色木版画・玉造口雪旦木版画・華城八景題詞宇田川文海述緒言大阪城沿革大阪城城内の大体 26, 5 x 39 cm 各木版画の題詞作成以前の状況、用紙サイズも断裁前。2と同一。慶長年間大阪城之略図のみ欠。

5・『表題不明』 1枚物 京橋朝市木版画と題詞・川崎堤春月木版画と川崎堤春霄題詞・筋金門時雨木版画と題詞・算盤橋春霄木版画と題詞・鳴野橋秋漁木版画と題詞・法眼阪霞色木版画と法圓阪霞色題詞・桃谷春色木版画と題詞・玉造口雪旦木版画と題詞・華城八景題詞宇田川文海述緒言大阪城沿革大阪城城内の大体 26、5 x 38 cm 藤沢南岳先生之題詞「金城美」、慶長年間大阪城之略図欠、

6・『華城八景』 豎画帳 藤沢南岳先生之題詞「金城美」・京橋朝市木版画と題詞・川崎堤春月木版画と川崎堤春霄題詞・筋金門時雨木版画と題詞・算盤橋春霄木版画と題詞・鳴野橋秋漁木版画と題詞・法眼阪霞色木版画と法圓阪霞色題詞・桃谷春色木版画と題詞・玉造口雪旦木版画と題詞 五三桐表紙付 17, 5 x 25 cm画帳 大正7年9月購版 発行兼印刷者 大阪市南区南炭屋町弐五番地 木村助次郎 販売元 大阪市南区八幡筋西横堀東入美術風俗文芸書林新古浮世絵版画売買だるまや 再版時、華城八景題詞宇田川文海述緒言大阪城沿革大阪城城内の大体、慶長年間大阪城之略図は省かれた。

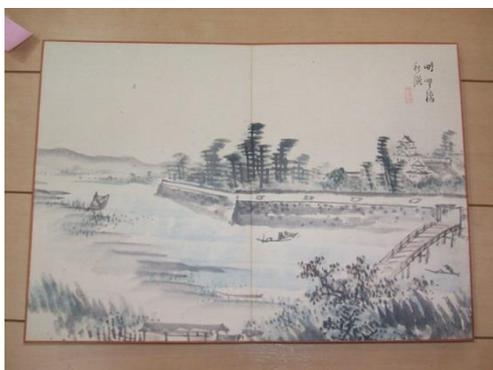
7・『華城八景』 豎画帳 藤沢南岳先生之題詞「金城美」・京橋朝市木版画と題詞・川崎堤春月木版画と川崎堤春霄題詞・筋金門時雨木版画と題詞・算盤橋春霄木版画と題詞・鳴野橋秋漁木版画と題詞・法眼阪霞色木版画と法圓阪霞色題詞・桃谷春色木版画と題詞・玉造口雪旦木版画と題詞 五三桐表紙付 17, 5 x 25 cm画帳 大正7年9月購版 発行兼印刷者 大阪市南区南炭屋町弐五番地 木村助次郎 販売元 大阪市南区八幡筋西横堀東入美術風俗文芸書林新古浮世絵版画売買だるまや 再版時、華城八景題詞宇田川文海述緒言大阪城沿革大阪城城内の大体、慶長年間大阪城之略図は省かれた。6と同一。

8・『華城八景』 豎画帳 藤沢南岳先生之題詞「金城美」・京橋朝市木版画と題詞・川崎堤春月木版画と川崎堤春霄題詞・筋金門時雨木版画と題詞・算盤橋春霄木版画と題詞・鳴野橋秋漁木版画と題詞・法眼阪霞色木版画と法圓阪霞色題詞・桃谷春色木版画と題詞・玉造口雪旦木版画と題詞 五三桐表紙付 17, 5 x 25 cm画帳 大正7年10月1日発行 画者 故玉手棠洲 発行兼印刷者 大阪市南区南炭屋町弐五番地 木村助次郎 発行所 大阪市南区八幡筋西横堀東入だるまや書店 彫技手岩橋辰一 摺技手筒井寅吉 いわゆる再版であるが、まったく見分けがつかない。再版時、華城八景題詞宇田川文海述緒言大阪城沿革大阪城城内の大体、慶長年間大阪城之略図は省かれた。

9・『表題不明』 豎画帳 藤沢南岳先生之題詞「金城美」・京橋朝市木版画と題詞・川崎堤春月木版画と川崎堤春霄題詞・筋金門時雨木版画と題詞・算盤橋春霄木版画と題詞・鳴野橋秋漁木版画と題詞・法眼阪霞色木版画と法圓阪霞色題詞・桃谷春色木版画と題詞・玉造口雪旦木版画と題詞・慶長年間大阪城之略図・華城八景題詞宇田川文海述緒言大阪城沿革大阪城城内の大体 元表紙欠 17, 5 x 26 cm画帳



筋 金 門



鳴野橋

資料3・新発見 玉手掌州画大阪城三十勝画帖 錦城(金城)廿勝 追手春真・京極口群鴉・十露盤橋春宵・京橋賑市・天満橋春色・網島春雨・玉造口雪色・筋金門疾雨・杉山郭公・十軒屋鋪通車・川崎堀夕陽・葭屋橋納涼・天満橋望月・畔野橋秋漁・菱櫓落雁・猫間川萩錦・鳴野堤秋夕・清水橋時雨・鳴野口渡所・追手暮雪 肉筆彩色 赤字の五絵図は華城八景と同一構図



## 新収集情報報告

掲載は入手順に入手後、翌日に記載しています。メモ代わりの備忘録ですので順不同です。

掲載分類は城郭図、城郭錦絵は城郭、群馬地図、資料は群馬、錦絵地図は錦絵、地図類は航空写真も地図、錦絵軍事、砲術、調練は軍事、後はタイトル通りです。

### 1・古絵図・古地図

征清海陸進歩双六 双六とあるが朝鮮半島と大陸の細密木版鳥瞰図

勝浦町勢要覧・勝浦町全図 千葉県夷隅郡

河北潟周辺釣場案内図 昭和22年 安宅義雄 39 x 54 cm

長井都市計画図 昭和27年 山形県 1万分1 46 x 58 cm

西置賜郡管内全図 15万分1 西置賜郡総合開発係監修 39 x 54 cm

日本道中図 16 x 468 cm 木版 一部不足

飛騨道中案内・岐阜県管内全図 石版 裏商店案内

観覧順路明細入東京大正博覧会案内全図附各附属会場 大正 3 年 宇田川安高 40 x 55 cm 2 色刷

東京横浜名所独案内図・東京市街独歩案内 旅館引札 石版 39 x 55 cm

講社御定宿 明治 31 年改正真誠講社・一新講社丸万半助・真誠講社まつや与兵衛 道中図

旅行独案内 引札 木版 2 色刷 名古屋一静岡 17 x 37 cm

高野山奈良大坂道中図 木版 2 色刷 堺名所・高野山名所・奈良名所 24 x 33 cm

大坂名所方角附 木版色刷 明治 36 x 45 cm 引札

地図絵葉書 出羽庄内酒田風景・樺太エンボス・栗林公園真景・起源二千六百年記念日本万国博覧会会場初三郎品川台場・茨城鉄道地図・仙台名所案内・武蔵妻沼聖天山全景・花巻温泉・

## 2・古典籍・古記録

豊臣年代昇進録1-7編 5-7は豊臣朝鮮征伐5-7となる。 木版

日光山名跡誌 木版 絵入

嘉永六年丑年六月浦賀表工北亜米利加州使節船渡来1条書記写

告志編水戸宰相斉昭卿 天保4年 松平頼位

東叡山 上野東叡山被仰渡候御條目 東叡山政所(黒印) 27 x 124 cm 封紙付 朱印

安政改正新版鎌倉名所記全 木版 大坂屋孫八 広重絵図6図収録

## 3・印刷資料

白善社商報 昭和27年 年賀状・薬包装紙・病院用椅子・薬袋・スタンプ・ゴム印 見本帳

Prints And Their Creators A World History 1974年 NEW YORK 136頁 738図

## 4・錦絵・引札・双六・絵葉書・古写真

錦絵 破奇術頼光袴垂為搦 芳艶 大蛇が睨みつける壮観な錦絵 3枚続き

笹島喜平拓摺舞姫 木版ではなく、彫刻したのち拓本を取り作品にしたもの

錦絵 駒場大演習

向井潤吉木版画 昭和34年 大和高取町蔵の壁

錦絵東都三十六景吉原仲之町 広重 一枚物

深水肉筆 美人針仕事 絹本 27 x 42 cm

錦絵 志ん板ぜう起車津く志 大判 蒸気車・汽船・人物は猫

錦絵 為朝誉十傑 国芳

続東西染織文 全10冊 昭和29年 京都書院 100部限定 52枚木版収録

木版燐寸 4冊 3166枚 美術系燐寸ラベル

三條実美公履歴 全5冊 明治40年 木版色刷絵本 守川弥平 東久世通禧詞 田中有美画

114図の木版収録

デザイン画 色尽くし 22枚 40 x 55 cm

## 5・軍事資料・武器武具

鉄砲錦絵 見立七小町ノ内早野勘平 火縄銃を抱える図 豊国

機関銃弾56発 71CLと刻印有

マーズ獵用無煙火薬箱 陸軍造兵廠火工廠板橋火薬製造所製200瓦入 2個

甲冑着用弁 文化5年 木版 井上[賡六] 絵入本

出雲流弓教巻目録 弘化5年 日置流 杉浦勝進 18 x 320 cm

海上自衛隊警備関係法規及び参考資料その2 34・8・12 海上自衛隊幹部学校

勇ましい兵隊双六 昭和11年 小学館 中村圭助 54 x 78 cm

支那事変皇軍大勝双六 昭和14年 主婦の友 峰田弘 64 x 94 cm

歩兵第十六連隊の凱旋 明治29年 東北日報 新発田

伏敵編・附録靖方溯源、竹崎季長蒙古襲来絵詞 明治24年 湯地丈雄 日本高麗航程及元疆略  
図・文永弘安殲寇関係地図・壱岐対馬二国図・石塁遺址図・荒戸山石塁図・博多古図・三韓鼎立図・  
文政三庚辰年大宰府址礎石現改之図縮摸 289頁

## 6・城

玉手掌州画大阪城三十勝画帖 金城廿勝 追手春真・京極口群鴉・十露盤橋春宵・京橋賑市・天満橋  
春色・網島春雨・玉造口色・筋鉄門疾雨・杉山郭公・十軒屋鋪通車・川崎堀夕陽・葭屋橋納涼・天満橋  
望月・畔野橋秋漁・菱櫓落雁・猫間川萩錦・鴨野堤秋夕・清水橋時雨・鴨野口渡所・追手暮雪 肉筆彩色  
いわゆる華城八景の原画である。

上総国富津陸軍海堡建設御用煉化石513万個運送契約書・念書 明治21年1月11日—22年 明治  
22年7月工兵第一方面富津御派出所宛御用砂運搬不心得詫状等8通

西洋要塞ブックエンド 木製 城壁に囲まれた要塞、天端狭間や円筒堡、角筒堡幅33cm x 高さ



19 cm

城ペナント 小田原城・会津若松鶴ヶ城

城郭絵葉書 高松城水の御門及矢倉木版亀井・福岡城堀端・松山城・亀ヶ崎城新井田橋鳥瞰図・  
上杉謙信公旧城趾春日山全景・白帝城（犬山城）・小倉10景勝山城趾之桜（小倉城）・高田城趾之  
桜・備前岡山城・安芸広島城・鶴岡御城鳥瞰図・白河名所城趾ノ光景・葦山旧跡江川城並に中学校・  
静岡城内歩兵第三十四連隊・会津鶴ヶ城黒金御門の光景・山形市霞ヶ城趾歩兵第三十二連隊・越語  
春日山城趾及春日山神社・衣川の柵より月山を望む・淡路洲本町三熊山上・熊本旧城・北越村上城  
趾の景・上杉謙信公旧城趾春日山の景・伊豆古奈名所葦山城趾・松山金亀城の勇姿・朝鮮風景鏡城  
全景其1城壁と城下の右半分・

城郭文献 文政年間忍城図・忍城今昔地図・首里城正殿美術模型・江戸城大天守美術模型・安土  
城天主美術模型・日本城下町絵図集、弘前城、盛岡城、盛岡城下、仙台城下、仙台城下、白石城、  
秋田城下、山形城、米沢城、米沢城下、会津城下、会津城、白河城下以上13城絵図・最上時代山  
形城下絵図・

購入見合わせ 慶長5年岐阜落城軍記附城攻之図和本明治19年9月長瀬寛二54000円・江  
戸品川台場通宝27000円（多数所蔵済）・慶長年中江戸御城郭内図50000円・城絵図江戸  
城大坂城二条城3枚45000円・

## 7・群馬郷土資料

道中掛書書類入 上州吾妻郡川戸村役人申立書 御変革諸家様国元引越二付人馬御入用通行之  
砌、中仙道高崎宿助郷仰付候議 安政7年川戸村余里道中奉行への助郷願書・文久3年・安政5年・  
万延元年・文久3年 御変革に伴う江戸詰め藩士、家族等の帰藩に対する中仙道川戸村による近隣  
酒への助郷依頼書6通

安中市板鼻町野田六商店酒・醤油・酢ラベル 90枚 37 x 54 cm 台紙張込9枚

## 8・資料

改良保険筒図面 消防設備一覧図面 39 x 52 cm 渡辺三十郎

盆石名所図式百景之内上巻五十景 肉筆横本

**盆景道具一式** 金へら5種・木へら6種・羽毛20種・石砂11種・濾し金11種・円形治具4種・鳥居石籠等飾り多数以上3段木箱入り・盆石大小8種

**明治5年官許(国力一覧表)** 帝・皇族・幅員・国郡・都府県・戸口・歳入・陸軍・海軍・国教・神社・学校・病院・貧院・仏寺・同盟国・開港・輸入・国債・造船場・鉱山・鉄道・浮標・灯台・度量衡・貨幣・沿革・官員 悔遅二稿長編 須原屋茂兵衛発行

## あとがき

1・伊賀上野城代家老福井健二さんが退任された。78歳。ご苦労様でした。詳細別送済。

2・小諸骨董市の帰り、久しぶりに小諸城を散策しました。

本丸二の丸の間の空堀は東に傾斜があり、堀底道かと思いましたが、堀底から本丸、二ノ丸へは断崖であり、虎口はなく、空堀堀索時の土砂搬出路、および、本丸二の丸間木橋の土台石垣構築時の石材搬入経路と考えました。本丸二の丸の東西外堀は自然の20mに及ぶ断崖で、今はコンクリートの擁壁となっていますが、壮大なものです。資料はどこにもありませんでした。博物館は閉館したままです。城址は城というより文学公園という感じでした。



広大な東外堀



西外堀



本丸二の丸間の空堀、堀底から



天守台

## 3・『華城八景』、いわゆる『大阪城八景』の原画発見。

懇意にしている骨董商から連絡があり、大阪城の画帳を鑑定してほしいとのこと。見る前はたまたみにみる木版色刷の華城八景だろうと思っていた。見てみるとなんと大阪城貳拾勝、なんと新発見の華城八景の原画であった。即、価格を提示し買い取った。評価が高いと喜んでいただいたが、何せ、永年買い集めた華城八景の数々の元である。多くの華城八景の謎とともに何れ解明した結果につい

て、寄稿したい。感謝である。ということで、急きょ今回巻頭に掲載した。この処、古書店や骨董商から古地図や城についての購入依頼が増加している。ありがたいことである。城郭報告書の非売品については価格にかかわらず大体購入している。城絵図については、価格が高額であり、やはり、見合わせも出てくる。その場合は、品名と価格を公開することにした。前回城絵葉書、落札できなかったが、落札された業者さんが好意でその一部を持参いただいた。日頃仲良くしていても、入札会場は戦場である。情け容赦はない。その点、研究者やコレクターも同じである。価格を了解して発注しても先着順であったり、抽選であったりして、入手できないことがある。幸い、城郭については研究者は多くおられるが、コレクターは一人もおられない。地域限定の公共施設や業者さんと競合うことがあるのみですが、重要な行為は誰よりも早く情報を集めることのようにです。

---

発行所

しろはく古地図と城の博物館 富原文庫

379-0109

群馬県安中市秋間みのりが丘5-73

090-2722-4689(しろはく)

FAX027-315-4689(しろはく)

[shirohaku@kym.biglobe.ne.jp](mailto:shirohaku@kym.biglobe.ne.jp)

ミュージアムショップ

古地図と城 古書肆 城郭文庫

代表

富原道晴

---